

**平成28年度対ボツワナ草の根文化無償資金協力
「ソフトボール球技場及び器材整備計画」引渡式の実施**

在ボツワナ日本国大使館
平成30年4月27日

平成30年4月24日、平成28年度草の根文化無償資金協力案件「ソフトボール球技場及び器材整備計画」の引渡式が国立ソフトボール球技場にて行われました。

本案件は、当国首都ハボロネの国立競技場横に位置する、国立ソフトボール球技場において、芝生の維持管理のための灌漑設備を整備し、ソフトボール技術の向上に必要なソフトボール用具を整備するものです。また、本案件は日本政府のスポーツを通じた国際貢献政策「Sport for Tomorrow (SFT)」の対象案件です。日本政府はボツワナソフトボール協会に対して、本案件に必要な65,331米ドルを供与しました。本案件の実施により、ソフトボールボツワナ代表をはじめとする国内のソフトボール選手の練習、試合環境が改善し、ソフトボール技術の向上に寄与することが期待されます。

引渡式において、竹田浩三大使はスピーチを行い、「本案件の実施により、ボツワナ国内のソフトボール選手の技術が向上し、また、ボツワナ女子ソフトボール代表が2020年の東京オリンピックに出場することを期待する」と述べました。これに対して、セディモ国家スポーツ委員会事務局長をはじめとする出席者から、感謝の意が述べられました。引渡式では竹田大使による始球式、整備した器材を使ったデモンストレーション等が行われ、引渡式の様子は当地の新聞のほか、ラジオ、国営テレビニュースにも取り上げられました。



(写真)出席者との記念撮影



(写真)供与した灌漑設備を使ったデモ



(写真)竹田大使による始球式



(写真)供与した器材を使ったデモ